

連続ドラマ「カレーの唄。」のオリジナルカレーレシピを KADOKAWA と共同開発！

「プロ クオリティ ビーフカレー」と「こくまるカレー」がドラマに登場

ハウス食品は、株式会社KADOKAWA（代表取締役社長：松原眞樹、以下KADOKAWA）原案による連続ドラマ「カレーの唄。」に協力し、ドラマに登場するオリジナルカレーレシピを共同開発しました。カレーをモチーフに、満島真之介さん主演による男2人の絆を描いたハートウォーミングなドラマで、10月より、ひかりTV、dTVチャンネルにて順次配信、BS12 トゥエルビにて放送されます。

「カレーの唄。」は全12話で、満島真之介さん演じる、両親に捨てられ、世界中を放浪しながら、一人で生きてきた男・天沢陽一郎が、登場人物の悩みをおすすめのカレーと一緒に食べながら解決していきます。各話ごとに異なる、多種多様なカレーが見どころの1つとなっており、ハウス食品が共同開発したレシピのカレーの他に、グループ会社である株式会社杏番屋が展開する「カレーハウス CoCo杏番屋」や、都内有名店、隠れた名店のカレーも登場し、ドラマを盛り上げます。



©2020「カレーの唄。」製作委員会

■「カレーの唄。」共同開発オリジナルレシピのカレー

「プロ クオリティ ビーフカレー」<中辛> で作る「焼きチーズカレー」と「カレーパスタ」

具材が煮つけたソース仕立ての「プロ クオリティ ビーフカレー」<中辛> で作ります。

溶けたチーズと半熟卵がおいしい「焼きチーズカレー」と、トマトの酸味とカレーがマッチした「カレーパスタ」です。



画像：（左から）ドラマに登場する「焼きチーズカレー」と「カレーパスタ」

製品紹介 「プロ クオリティ ビーフカレー」<中辛>

しっかり煮込んだ牛肉・玉ねぎ・トマトの煮つけた旨みと甘み。
デミグラスソースのようなコク深く濃厚なソースに仕立てた
レストラン品質のカレーをお楽しみいただけます。



画像：（左から）「プロ クオリティ ビーフカレー」<中辛> の「外装」と「内袋」

「ギョニソ（魚肉ソーセージ）カレー」

カレーの具材に魚肉ソーセージは意外な組み合わせですが、とてもおいしいカレーが出来上がりました！
魚肉ソーセージのちょっと歯ごたえのある食感が楽しめるカレーです。



画像：ドラマに登場する「ギョニソ（魚肉ソーセージ）カレー」

この他に、「こくまるカレー」＜中辛＞で作る、肉、じゃがいも、たまねぎ、にんじんの「おうちカレー」も登場し、ドラマの登場人物たちのお腹も心も満たします。

製品紹介 「こくまるカレー」＜中辛＞

「我が家のカレーはルウを混ぜ合わせて作っている」そんなお客さまの声をヒントにこくまるカレーは生まれました。

「あめ色玉ねぎのココのルウ」と「生クリームのまろやかルウ」、2つのルウをブレンドして仕上げたカレールウなので、甘みや旨み、スパイス感といったおいしさが口の中に広がる、コク深いカレーを楽しめます。



■連続ドラマ「カレーの唄。」について

＜STORY＞

両親に捨てられ、世界中を放浪しながら、一人で生きてきた男・天沢陽一郎（満島真之介）は、あるトラブルをきっかけに、芸術家志望の内気な大学生・鈴木二汰（鈴鹿央士）と出会う。お金がない陽一郎は、助けたことを口実に二汰にカレーをおごらせると、ポツリと家族について語りだす。清川不動産の清川薫子（森口瑠子）は、アパートの管理人だったことが縁で、陽一郎の亡き父の遺骨を預かっている。陽一郎が毎日カレーを食べ歩くのには、何か深い理由があるようで…。

出演：満島真之介 鈴鹿央士 出口夏希／森口瑠子

原案：KADOKAWA

脚本：山崎佐保子

監督：瀬田なつき、島添亮、金子功

音楽：JABBERLOOP

企画・プロデュース：KADOKAWA、NTTぷらら 制作プロダクション：東映東京撮影所 制作協力：PADMA

製作著作：「カレーの唄。」製作委員会 ©2020「カレーの唄。」製作委員会

公式サイト: www.hikaritv.net/sp/currysongs/ 公式Twitter: @currysongs

※「カレーの唄。」キービジュアル画像はコピーライトとセットでご使用ください。

<「カレーの唄。」パブリシティお問い合わせ先>

株式会社とこしえ：03-6457-3035 代表メール：info@tokoshie.co.jp

（担当：甘楽 080-3429-7820／田中 090-2440-8886／松本 090-2167-6158／飛田 080-4148-8719）